

みどりの

Midori no Tohoku

東北

No.238

令和6年2024.1

林野庁 東北森林管理局

Tohoku National Forest Regional Office



毎年1月～2月に見頃となる「八甲田山の樹氷」は、「蔵王」「森吉山」と並んで日本三大樹氷の一つです。真っ白で幻想的な世界でウィンタースポーツや空中散歩が楽しめます。

八甲田山の樹氷（青森県青森市）

[提供：八甲田ロープウェイ株式会社]

CONTENTS

地域発NEWS	1～4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5～6
東北森林管理局長 年頭所感	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	
新任者略歴紹介・退官者挨拶	

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

なかよし会で森林教室

下北森林管理署

青森

当署では、未来を担う子供たちが地域の森林に目を向け、森林・林業について学び、興味を持ってもらうことを目的として森林教室を開催しています。今年度は、小学校の夏休み期間の8月3日に関根小学校、8月8日に川内小学校の学童保育（なかよし会）で、座学と体験の2部構成とした森林教室を開催しました。

座学では森林の役割や、林業の概要・重要性について説明し、子供たちの関心を引きやすいようにクイズを盛り込んだり、測幹や輪尺等の木を計測する道具や、クマ鈴やクマスプレー等のクマよけ対策の道具を実際に見て触ってもらったりしました。体験会ではスギや広葉樹の丸太をノコギリで切り、切った輪切りに自由にイラストを描いたり、用意した木の葉や押し花でオリジナルの葉を作成したりしました。



クイズに元気に答えている子供たち

子供たちからは、「木の葉っぱはざらざらやちくちくした触り心地だった」「自分で切った木にイラストを描くのが楽しかった」等の感想がありました。

当署では、今後も森林教室を通して地域の子供たちが森林・林業に興味を持ち、森林を身近に感じてもらえることを願い地域と連携して森林環境教育に取り組んでいきます。

岳岱自然観察教育林の歩道整備

藤里森林生態系保全センター

秋田

岳岱自然観察教育林は、秋田県山本郡藤里町を流れる藤琴川の上流、藤里駒ヶ岳と三蓋山の二つの高い山に挟まれた台地状のところに位置し、標高は約620m、面積は約12haです。ブナを主体とする天然林内に整備された遊歩道を散策しながら、世界自然遺産白神山地を手軽に感じることができると、県内外から多くの観光客が訪れます。

林内には約1,800mの遊歩道が整備されており、毎年、当センター職員が中心となり補修点検をし、平成28年からは埼玉県にある獨協大学の学生の協力を得ながら実施しております。

獨協大学では、平成28年から「白神山地ゼミ合宿」と称し、ゼミナールのテーマであるグリーンツーリズムやエコツーリズムによる持続可能な観光や地域振興の在り方を学ぶための一環として、林内の歩道整備のボランティア活動を行っています。

令和5年度は8月31日に2年生19名、9月11日に3年生16名の協力で、遊歩道上の地表に浮き出ているブナの木の根を保護するために、ウッドチップを撒いて敷き詰めました。



ウッドチップを遊歩道に敷き詰める学生たち

当センターは、皆さまの協力を得ながら、岳岱の自然を後世に引き継いでいく活動を継続していきます。

地域と連携したニホンジカ被害対策

三陸中部森林管理署

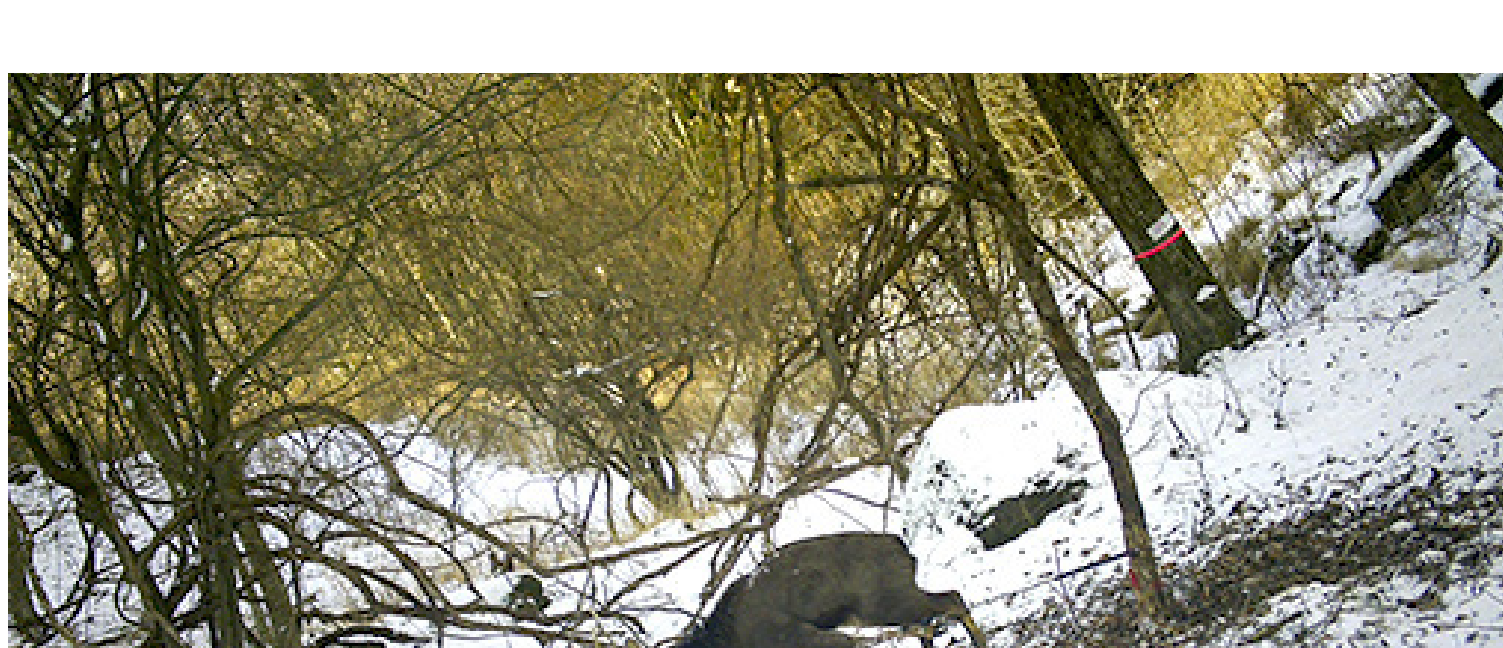
岩手

近年、ニホンジカの個体数は急激に増加しており、森林においては、苗木の食害や樹皮はぎによる被害だけではなく、希少種の食害や下層植生を過度に食べることにより、地表の裸地化が進み土砂の流出、さらには崩壊につながる危険性もあるといわれています。

深刻化の一途をたどるこれらニホンジカによる被害に歯止めをかけるため、当署では、管内の自治体・猟友会と、捕獲用ワナの貸出協定を締結し、貸出したワナによるニホンジカ捕獲活動を支援しています。

この協定は、平成30年に大船渡市で始まり、令和2年に釜石市、今年は大槌町と、徐々にその範囲を広げており、毎年各市町で100基程のワナを貸出すことで、1市町当たり50～70頭のニホンジカ捕獲に貢献しています。

かつては獲物を大勢で取り囲んで徐々に追い詰めていく「巻き狩り」が主流であったものの、ワナが普及し、近年では、ワナとエサを上手く組み合わせ、効率よくニホンジカを捕獲する「小林式誘引捕獲法」が開発されたこともあり、初心者でも簡単かつ効率良くシカを捕獲することができるようになってきています。今後も地域と連携してニホンジカ被害対策に取り組んでいきます。



ワナにかかったシカ

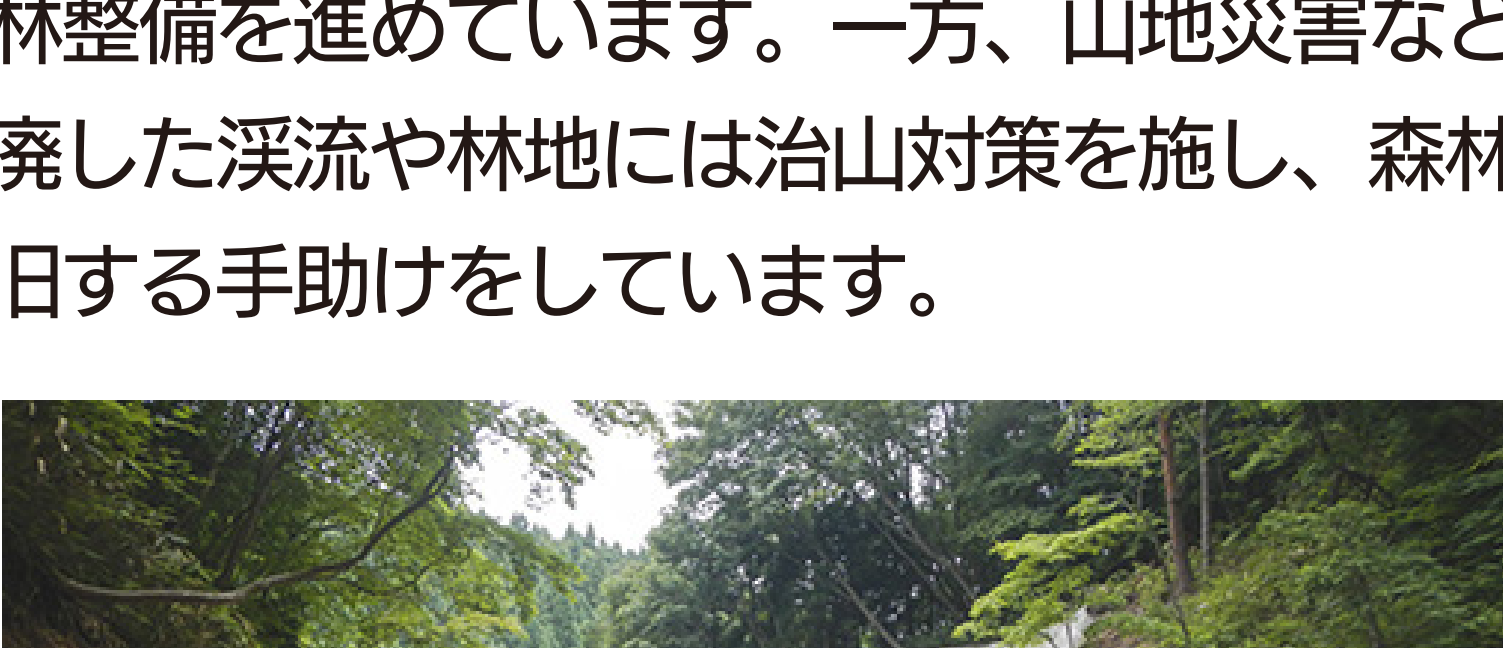
「地域のために」森林を育む治山事業

米代西部森林管理署

秋田

私たちの暮らしは、森林の持つ様々な機能により自然災害から守られています。例えば、雨水を蓄え洪水被害を軽減する機能や、降雨による侵食から地表を守り土砂災害を防ぐ機能などです。

森林管理署では、これらの機能を高め、十分な効果が発揮されるよう、森林の造成や間伐などの森林整備を進めています。一方、山地災害などで荒廃した溪流や林地には治山対策を施し、森林へ復旧する手助けをしています。



治山ダム上流側の溪流の状況

男鹿森林事務所管内の仙養坊沢では、溪流の勾配が急峻なために大雨の度に溪岸が侵食され、下流の農業施設へ多量の土砂が流出する被害が続いていました。そのため、土砂の流出防止対策と発生源対策として、治山ダム工と法面保護工を実施しました。治山ダムは、その上流側に土砂を貯めて溪流の勾配を緩やかにすることで、流水の勢いを抑え侵食を防ぎます。施工直後で植生はまだありませんが、今後は樹木や下草が繁茂し、豊かな森林に回復することが期待されます。

一方、森林の災害防止機能にも限界があり、近年ではこれらの機能を上回る大雨により山地災害が多発しています。地域の皆さんが安全、安心に暮らせるよう、これからも治山対策を進めていきます。

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

希少なアカマツ保護林とクリーン活動

岩手

三陸北部森林管理署久慈支署

岩手県は日本で有数のアカマツの産地です。特に、久慈市侍浜地区にあるアカマツは、生長・形質が優良なことから「侍浜松」と呼ばれ有名です。

この侍浜地区にある国有林の一部は、侍浜松の天然林であり、希少な侍浜松の保存と学術研究の資料とするため「侍浜松希少個体群保護林」に指定しています。保護林の周辺には集落や侍浜駅もあり、県道に接していることからアクセスも良く、見学や林内を散策する方も見られます。

この保護林を見学される方の安全と環境保全のため、当支署では国有林のクリーン月間行事として、地元にある林業・木材産業関連団体で組織されている「久慈地方「木の仕事」協議会」の協力を得て、毎年、保護林周辺のゴミ拾いや散策コースの草刈りに取り組んでいます。

ゴミ拾いは毎年ゴミ袋3つほど出ていましたが、今年度は2つになり活動の成果が現れてきたものと感じています。また、散策コースもとても歩きやすくなりました。



毎年の取組の成果でゴミも減少

希少なアカマツの保護林を知っていただくとともに、周辺の環境保全にも貢献できるよう、今後もクリーン活動を続けていきます。

次期地域管理経営計画の策定に向けて

秋田

秋田森林管理署湯沢支署

当支署と秋田森林管理署では、雄物川流域の国有林(約15万ha)を管轄しており、令和7年度にスタートする経営計画(計画期間5年)の策定に向けて、準備を進めています。

当支署で過去5年間に行ってきた事業内容等の実行結果を整理したほか、次期の計画期間内に施業ができる箇所を現地踏査等を行いピックアップしました。

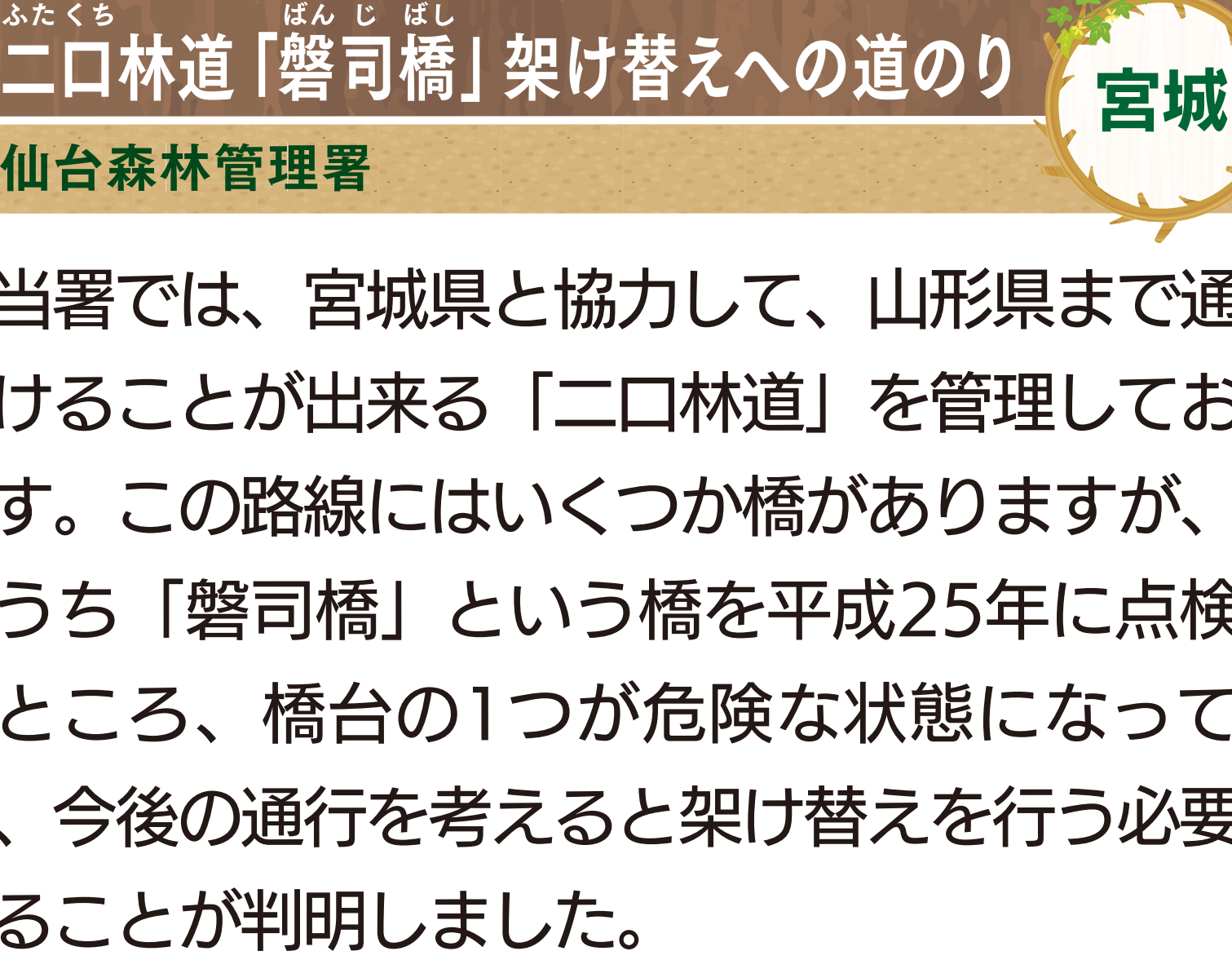
管内の栗駒国立公園とその周辺に広がるブナ等の広葉樹林の保護や、伐採した木材を有効利用するための林道整備等様々な要素をもとに、どのような施業が現地の森林に適しているか各担当者が熱心に検討しました。

当支署では次期経営計画策定にあたり、地理情報システム(QGIS)に国有林のデータを反映、図化することを試みました。これにより管内の施業内容を視覚的、一元的に把握できるようになりました。その図面をもとに、様々な角度からの検討を繰り返しながら、計画を練り上げてきております。

国有林の管理経営の根幹をなす経営計画がより良いものとなるよう、支署をあげてさらに検討を重ねていきたいと考えています。



QGISで作成した図面



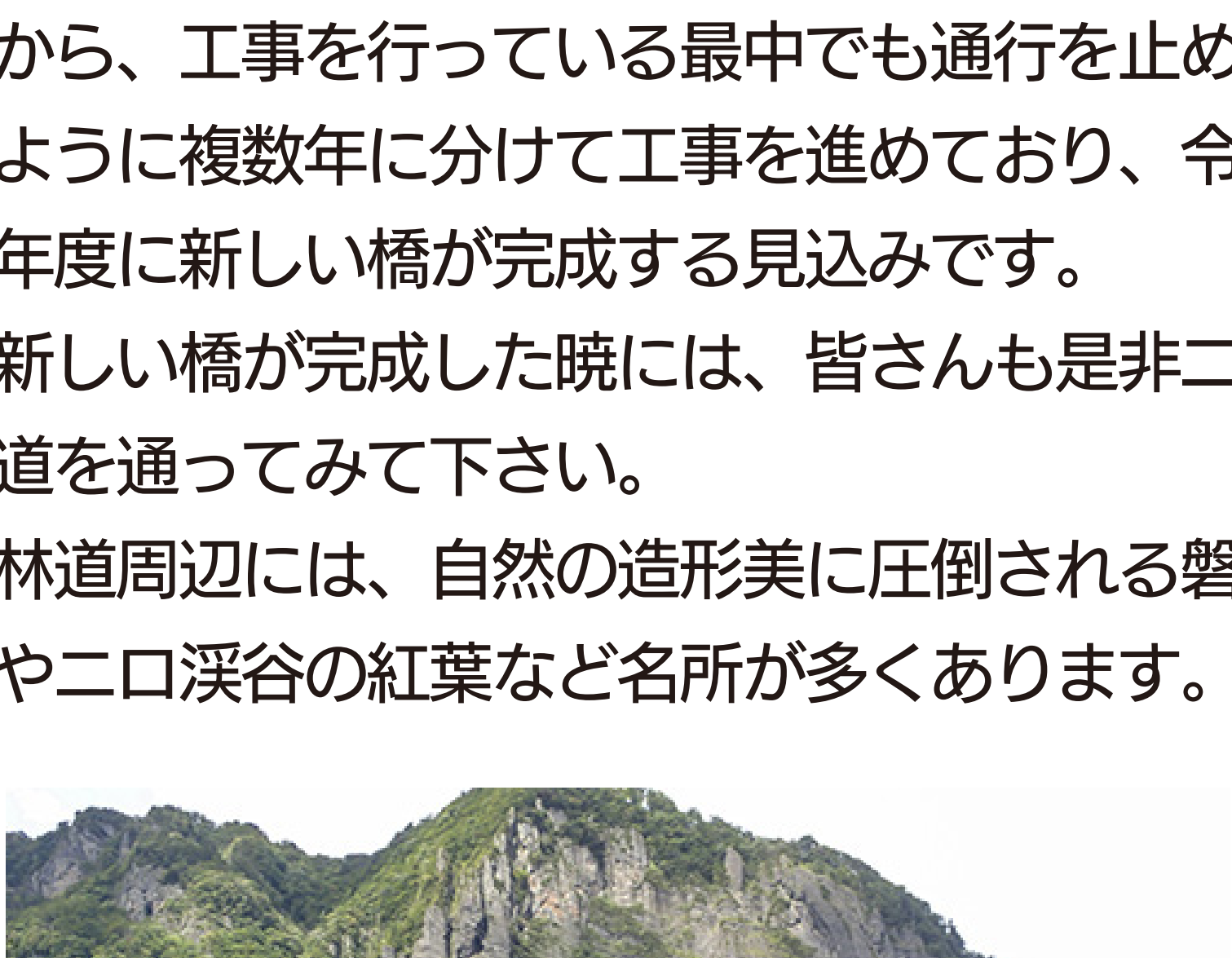
施業箇所等の打合せ

二口林道「磐司橋」架け替えへの道のり

宮城

仙台森林管理署

当署では、宮城県と協力して、山形県まで通り抜けることが出来る「二口林道」を管理しております。この路線にはいくつか橋がありますが、そのうち「磐司橋」という橋を平成25年に点検したところ、橋台の1つが危険な状態になっており、今後の通行を考えると架け替えを行う必要があることが判明しました。



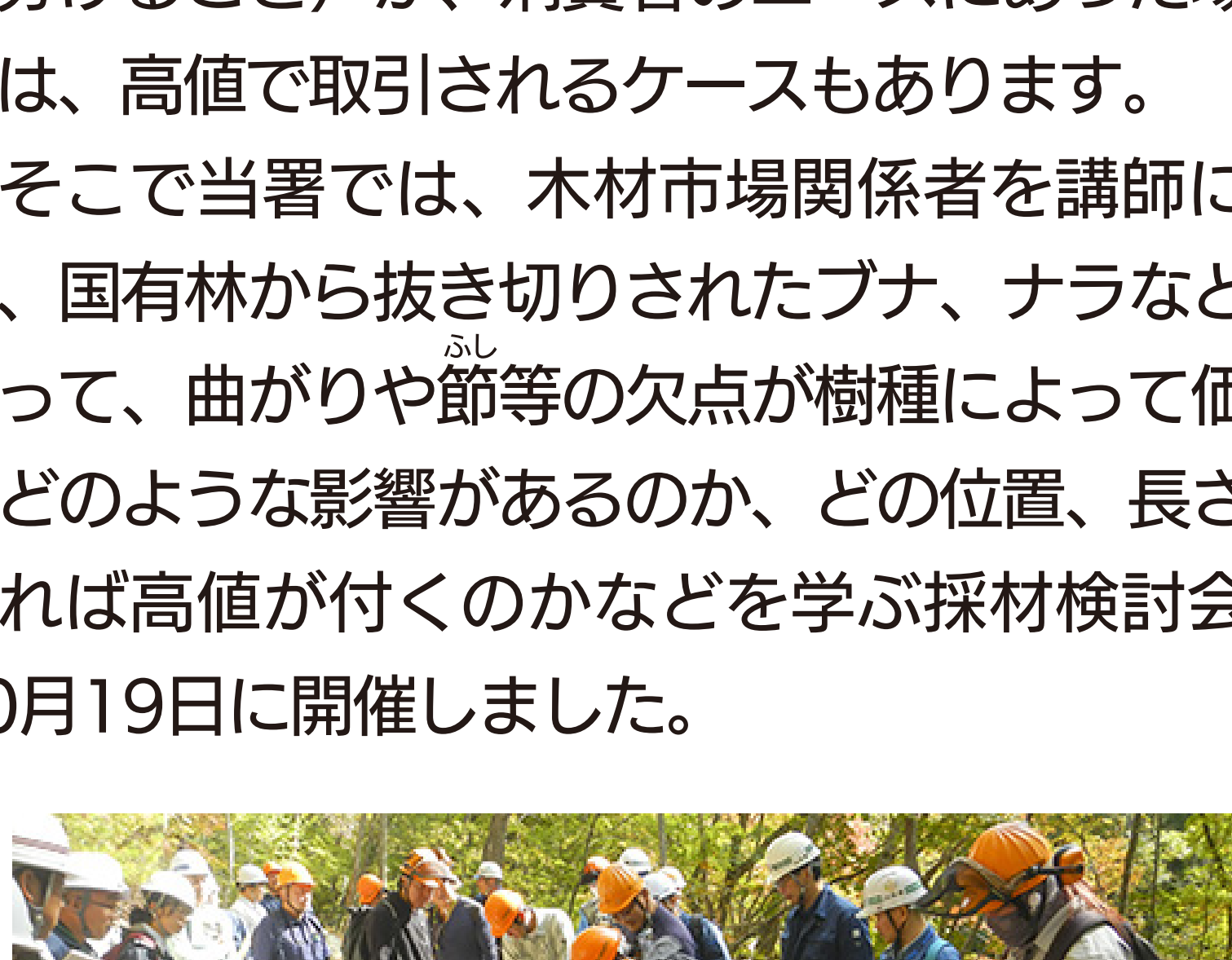
危険な状態の橋台

このことを踏まえ、令和元年から架け替えの設計、令和4年から工事を開始しました。

この林道は観光道路としても活用されていることから、工事を行っている最中でも通行を止めないように複数年に分けて工事を進めており、令和8年度に新しい橋が完成する見込みです。

新しい橋が完成した暁には、皆さんも是非二口林道を通ってみてください。

林道周辺には、自然の造形美に圧倒される磐司岩や二口渓谷の紅葉など名所が多くあります。



幅約3km、谷底から高さ約150mの巨大な磐司岩

ニーズにあった広葉樹の採材方法

山形

置賜森林管理署

国有林野事業の一つである生産事業では、主にスギやカラマツなどの人工林において、間伐や皆伐を行っており、その際に広葉樹を伐採することがあります。当署ではその広葉樹の有効利用に努めています。

多くの広葉樹材はバイオマス発電の燃料や製紙用の原材料として利用されますが、近年は市場に出回る量が減少しており、広葉樹材の価格が上昇しています。また、樹種や採材(伐採した木を切り分けること)が、消費者のニーズにあった場合には、高値で取引されるケースもあります。

そこで当署では、木材市場関係者を講師に招き、国有林から抜き切りされたブナ、ナラなどを使って、曲がりや節等の欠点が樹種によって価格にどのような影響があるのか、どの位置、長さで切れば高値が付くのかなどを学ぶ採材検討会を10月19日に開催しました。



採材検討会の様子

地方公共団体や事業体の参加者からは、「採材次第で価格が大きく変わることがよく分かった」「市場で実際に取引されるところを見たい」という意見がでました。引き続き、こうした意見も参考に、適正な管理を前提に地域の人工林から生産された木材の有効利用、利用促進に取り組み、林業・木材産業の発展に貢献していきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手

岩手県奥州市

岩手南部森林管理署

奥州市は、野球のメジャーリーグ・アメリカンリーグで、日本人初の本塁打王を獲得した、大谷翔平選手のふるさとです。

面積は、993平方キロメートルと広大で、西の焼石連峰、東の北上山地に挟まれ、岩手県第3位の面積を有します。

◎市内中央には、北上川が流れ、その西側には胆沢川によって開かれた「胆沢扇状地」があり、「日本三大散居集落」に選ばれた水と緑に囲まれた散居の佇まいが広がっています。



①胆沢平野

また、北上川東側には、北上山地につながる田園地帯が広がり、東端部には、種山高原、阿原山高原が連なっており、市全体が緑あふれる豊かな自然に恵まれています。

◎衣川地区には、自然を生かした森の遊びを体験できる「衣川ふるさと自然塾」があり、イワナ釣り、そば打ち体験、ホタル観察等ができます。



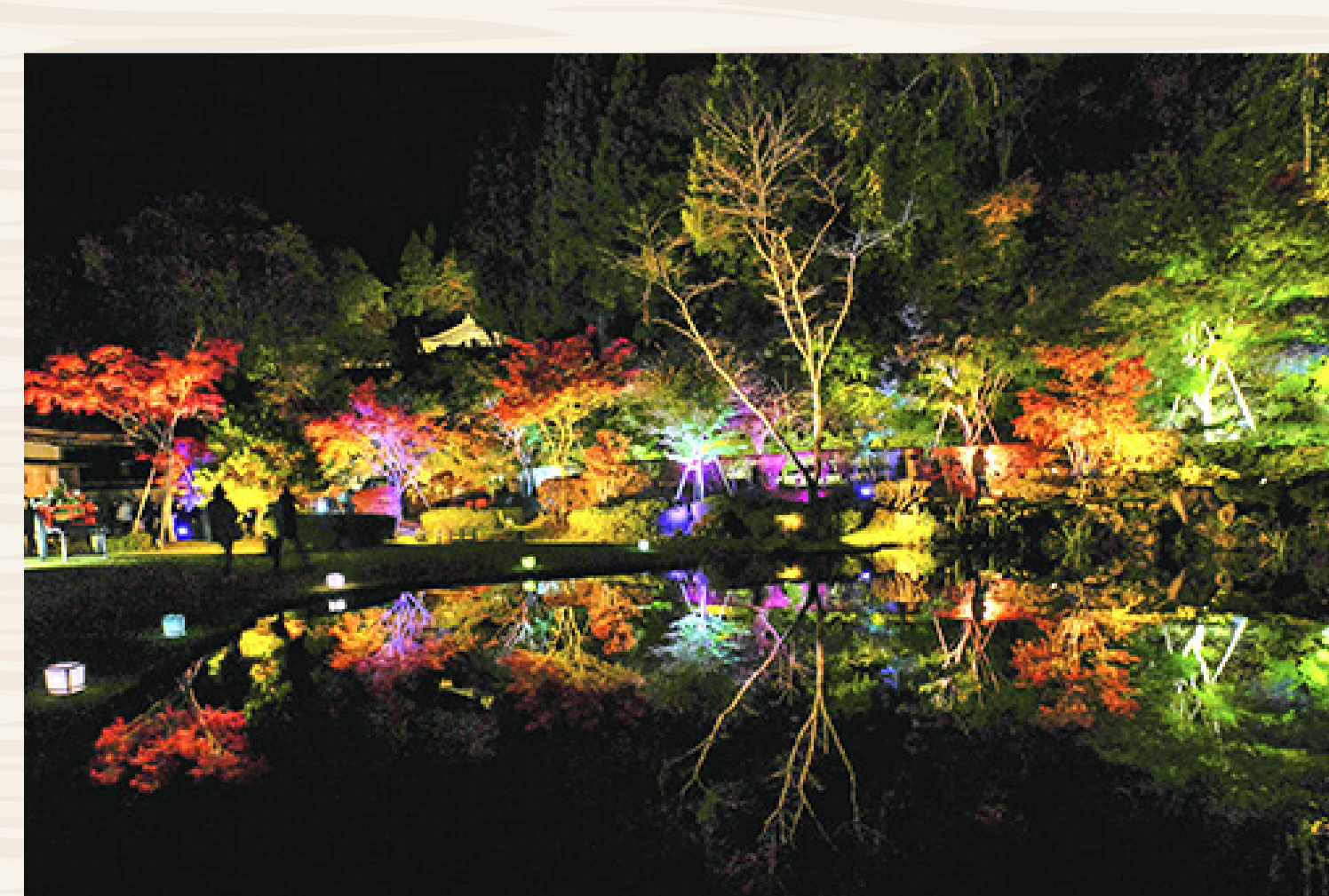
②衣川ふるさと自然塾

◎胆沢地区には、日本最大級のロックフィルダム「胆沢ダム」があり、ダム周辺では「奥州湖」の豊かな水資源を活かして、ダム直下のラフティングやカヌー、馬留池でのカヤックやSUPなどアウトドアアクティビティ体験や花の百名山で知られる焼石連峰登山など、年間を通して様々な自然体験ができます。



③胆沢ダム

◎「歴史公園えさし藤原の郷」は、江刺地区にあり、平安時代を基にしたテーマパークです。奥州藤原氏の歴史を感じながら東北の歴史文化を体験でき、大河ドラマのロケ地としても知られています。2023年は、開園30周年を迎え、多くの観光客が訪れ、四季折々の花等の見どころ満載の文化スポットとなっています。



④藤原の郷紅葉ライトアップ

[写真提供：①④奥州市観光物産協会、②奥州市衣川総合支所、③北上川ダム統合管理事務所胆沢ダム管理支所]

お問合せ先
一般社団法人 奥州市観光物産協会 Tel.0197-22-7800

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



山形県最上郡真室川町

山形森林管理署最上支署

真室川町は、山形県の北部に位置し、町の西部から北部にかけて出羽山地の山々が、北東に奥羽山脈の神室連峰が連なっており、町域の大部分が森林で占められております。そのような自然環境から古くより林業の町として栄えてきました。



林業を支えた「森林トロッコ列車」(真室川町提供)

また、県内有数の豪雪地帯として知られ、雪との共存が独特の生活文化や風習や知恵を生み出し、今でもその文化を垣間見ることができます。

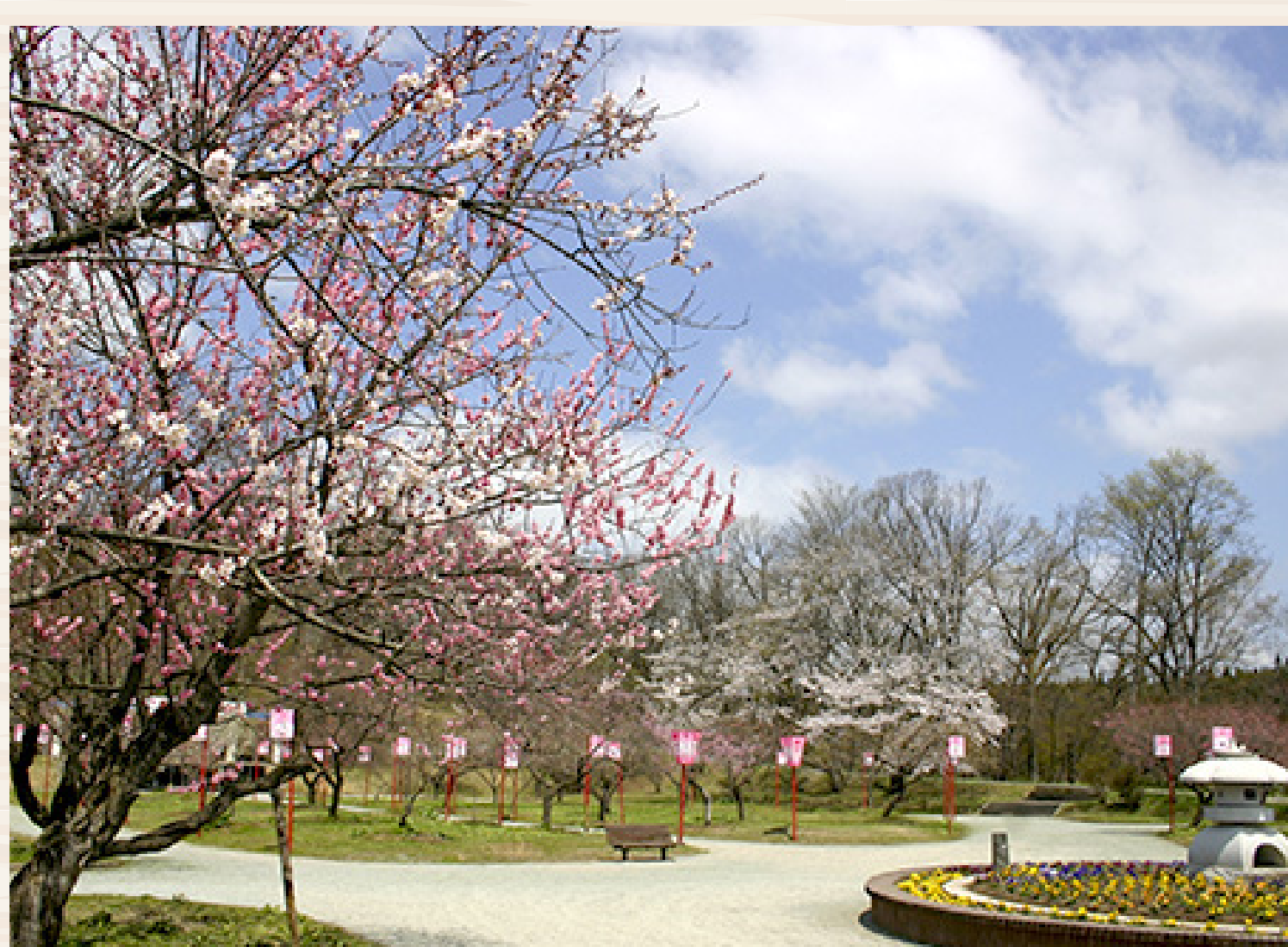
雪は、農産物の生産において豊かな恵みをもたらし、町の主要作物である米は、食味鑑定コンクール全国大会で優秀な成績を収めるなど全国から評価を得ております。また、ニラ、ネギ、里芋などの園芸作物や冬期間にハウス内で栽培する促成山菜（夕



真室川まつり「真室川音頭パレード」(真室川町提供)

らの芽、雪うるい等)の生産も盛んに行われており、農業が盛んな町でもあります。

文化面では、全国的に有名な民謡「真室川音頭」の発祥の地として知られ、「真室川音頭パレード」や「真室川音頭全国大会」が催され歌い継がれています。真室川音頭の歌詞内にある「梅の花」は町の花とされ、真室川町木ノ下地内にある真室川公園では梅の木30種類が植樹され、春には、「桜」「桃」の花とともに一斉に開花します。開花した花は、「真室川梅まつり」内でライトアップされ沢山の観光客が会場に訪れます。



真室川公園「梅の花」(真室川町提供)

その他の四季折々のイベントも充実しており、夏の「真室川まつり・花火大会」、秋の「真室川町大収穫祭」、冬の雪を楽しむ創作競技大会である「ホワイトアスロン」など1年間を通じて様々なイベントをお楽しみいただけます。



ホワイトアスロンの様子(真室川町提供)

お問合せ先
真室川町観光物産協会 Tel.0233-62-2050

令和6年 東北森林管理局長 年頭所感



東北森林管理局長
大政康史

新しい年を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

このたび、1月1日付で東北森林管理局長を拝命した大政康史です。

皆様におかれましては、平素より、東北森林管理局の業務運営につきまして格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対し、厚くお礼申し上げます。本年も、「新しい林業」の展開と木材の安定供給について、職員一同しっかり取り組んでまいり所存です。

近年、台風や前線等を起因とする自然災害が全国各地で多発し、昨年7月豪雨では秋田県を始め管内各県に大きな被害が発生しました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。当局としましては、国民の安全・安心な暮らしを守るため、国有林内の災害復旧はもとより、民有林の災害調査の支援を行うなど各県や市町村等と連携・協力し、民有林も含めた災害に強い健全な森林づくりによる国土強靱化をより一層推進してまいります。

さて、林野庁では、森林・林業基本計画や新たな国有林野の管理経営に関する基本計画に基づき、森林を適正に管理しつつ、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、森林及び林業をめぐる情勢変化等を踏まえた対応方向の一つとして、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を展開しています。

東北森林管理局においても、様々な取組を進めているところであり、造林事業については、下刈における筋刈の本格導入、大苗導入による下刈回数削減など、造林コストの縮減に取り組んでいるところです。また、素材生産については、生産性の向上に向け、作業日報の活用を通じて、作業の無駄や無理がないようにすることを始め、木寄・集材工程の生産性が造材工程を上回るように作業の改善を図る等、造材手際の向上への取組を進めています。こうした取組が、再造林の着実な実施につながるものと考えており、今後、これらの成果を整理して、民有林でも低コスト化の手法を安心して取り入れることができるよう技術指導や普及に努めてまいります。

木材需給動向については、ウッドショックで需要が高まった一昨年とは状況が一変し、需給バランスの崩れに伴う木材価格の低迷が続いておりますが、山元への利益還元のためには、再生産が可能となる原木価格の水準を維持する必要があります。

当局としては、こうした地域の状況を踏まえながら、製材工場等との間で木材の計画的な供給に関する協定を締結し、安定的に木材を供給する「安定供給システム販売」を推進するなど、引き続き、木材の安定供給に努めてまいります。また、管内の優れた森林資源を有効活用するために制定した規格に基づく高品質ブランド材の供給を、昨年度より開始したところです。管内の市場等への出品を行い、高い評価を得ており、今後、需給動向を見極めながら、取組を進めてまいります。

わが国の森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、林産物の供給等の多面的機能を有しており、国民生活及び国民経済に大きな役割を果たしています。その中で国有林という資源を、最大限、地域に活かしていくことが大切だと思っております。当局においては、皆様の声に耳を傾けながら様々な取組を進めてまいりますので、本年も引き続き、御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様一人一人にとって、実り多き素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たっての御挨拶とさせていただきます。



使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

国有林モニター制度

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様の御意見・御提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けており、東北森林管理局では令和4・5年度モニターとして管内5県にお住まいの47名の方に御就任いただいております。

モニターの方には、毎月の広報誌等の送付や、造林事業、治山事業箇所等での現地見学会を通して、国有林野事業への理解を深めていただき、アンケートへの回答やモニター会議により、国有林野事業についての御意見・御要望をお伺いしています。



現地見学会の様子
(海外防災林でのクロマツ苗植栽)

これまでのモニター活動の概要やアンケート結果は東北森林管理局ホームページで公表しており、自治体や業界の方にも森林・林業・木材産業への国民の皆様の視点を知る上で参考となる情報もありますので、是非御覧ください。

なお、現在、東北森林管理局では令和6・7年度「国有林モニター」を募集しています。

○募集人員：48名程度

○募集期間：令和5年12月15日（金）

～令和6年2月16日（金）

○任期：令和6年4月1日（月）から2年間

○内容：現地見学会や国有林モニター会議への出席、アンケートへの回答など

応募資格や応募方法など、詳しくはホームページを御覧ください。

多数の応募をお待ちしております。

国有林モニター制度の詳細は、こちらから
(<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/kokuminsanka/monitor/index.html>)



ご関心のある方は、企画調整課
(TEL:018-836-2276)へお問合せ下さい。

東北5県における近年のブナの豊凶

東北森林管理局では、管内（福島県を除く東北5県）の145箇所ではブナの開花状況及び種子の結実状況の調査をしています。

令和5年秋の結実状況調査は、この管内の5県全てで大凶作という結果となりました。

ブナは豊凶の周期が長い種（5～7年）に分類され、種子が少ないか、ほとんどならない年が多いといわれています。

ブナの結実状況

調査年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
青森県	大凶作	凶作	凶作	大凶作	並作	凶作	並作	大凶作
岩手県	大凶作	凶作	凶作	大凶作	凶作	大凶作	並作	大凶作
宮城県	大凶作	大凶作	並作	大凶作	大凶作	凶作	凶作	大凶作
秋田県	大凶作	大凶作	凶作	大凶作	並作	大凶作	並作	大凶作
山形県	大凶作	大凶作	豊作	大凶作	大凶作	凶作	並作	大凶作

『ブナの豊凶とクマの出没に関係はあるの?』と質問をいただくことがあります。

森林総合研究所の調査によると「東北地方ではブナの結実が凶作の時はクマの出没数が多く、豊作の時は少ない」といった関係性を示す結果が得られています。

豊作の翌年は、出産する雌グマが増加し、翌春には親子グマが人里に出没する可能性が高まるといわれますが、クマの出没には、ブナ等の豊凶のほか、耕作放棄地の増加、人里に実る柿や栗の実による誘因など、様々な要因が関係していると考えられています。

このため、人里では茂みの刈払いや誘因物となる木の実の除去など、クマの住みにくい環境整備が重要とされています。

雪が消える頃、クマの出没情報が多かった地域に出掛ける際には、クマよけ鈴やクマ撃退スプレーを携行するなど、冬眠明けのクマに遭わない・遭った場合の対策を進めておくことが大切です。

ブナの開花、結実状況調査の詳細は、こちらから



ご関心のある方は、技術普及課
(TEL:018-836-2214)へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

自然の中で仕事がしたくて

岩手

岩手県国有林造林生産請負事業協議会

栗石地区国有林材生産協同組合 高橋 健太郎さん

当組合は、国有林が発注する素材生産請負を主体に約15,000m³の素材生産と、約30haの造林請負を実行しています。

先輩や同僚も安全への意識が高く、平成21年から組織として無災害を継続しています。私自身も労働安全確保の重要性を再認識しながら、機械化された林業現場において、安全第一で無災害の継続に取り組んでいます。

私は自然の中で体を動かす仕事がしたいと思い、いわて林業アカデミーに入学し、卒業後、当組合へ勤め始めて4年目となります。私の主な仕事はハーベスタによる造材です。造材作業では、丸太の価値を下げないよう材を裂かない、材長不足にしない等に注意しています。特に大径材は切り落とす側を伐根等に乗せて裂け防止を、樹皮が剥がれ材が滑り易い時期は、滑ることによる材長不足等に注意しています。今後は、全幹材の曲がり等欠点の見極めを早くして、造材効率の向上を図りたいと思っています。自然の中で、機械と一体となって働く林業に魅力を感じています。

母校のいわて林業アカデミーの生徒を対象に、岩手県国有林材生産協同組合連合会がアカデミーのサポートチームの一員として実施した現地研修



アカデミーの後輩へ伐倒を指導中
(木を伐っているのが筆者)

の際には、伐倒作業を実演してみせ、後輩の指導をしました。多くの後輩と一緒に仕事できる日を心待ちにしています。

秋田県No.1の豪雪地域に寄り添う

秋田

由利森林管理署 笹子森林事務所

森林官 小林 幸太郎さん

当事務所は、秋田県と山形県に跨る日本百名山のひとつ鳥海山の東山麓の標高200~300メートルの山間部に位置しています。笹子と書いて「じねご」と読むこの地名は、笹原が広がっていたことから、「笹の実」の古い呼び方である「自然粳（じねんご）」から来ていると言われています。

秋田県内でも屈指の豪雪地帯の当地域は、昔から作物の収量が安定せず、米の代用として松の皮の繊維を練り込んだ大福餅（松皮餅）を主食としてきました。また、山菜やきのこ、動物が貴重な食糧源であったと言われています。

森林官の仕事のひとつに、地元寄り添い国有林の役割をPRすることが挙げられると思っています。山間部に位置する当地域は森林とともに発展してきた歴史があります。



山中での巡検の様子

国有林の正しい役割を理解してもらうために、間伐を繰り返すことにより健全な山となり、山が土砂崩れや洪水を防ぎ、強いては住民の生命・財産を守ることに繋がっていること、また、おいしい水、空気、山菜等も健全な山の恩恵であることを丁寧に説明しています。住民から国有林の役割の理解を得られれば最高の応援団になると考えています。

様々な土地へ異動のある仕事ですが、その土地特有の文化には山が関わっていることを体感できる職業として、森林官になってみませんか。

東北森林管理局の管内で

予定されている

イベント情報

1月中旬

冬の検断屋敷まつり

1月11日(木)

材木岩公園内にある検断屋敷(旧木村家)では四季毎に祭りを開催(宮城県/小原地区活性化推進協議会)

奥中山高原夢あかり

1月12日(金)～1月14日(日)

雪像や竹灯籠、キャンドルが幻想的な光を灯す(岩手県/一戸町奥中山地区センター)

ゴッコフェア2024

1月13日(土)～1月14日(日)

ゴッコ(布袋魚)の即売会、ゴッコの調理レシピ配布(青森県/岩崎産直友の会)

冬の鞍掛山麓探検スノーシューウォーク

1月13日(土)

この時期しか歩けない! 鞍掛山麓を楽しめる(岩手県/網張ビジターセンター)

第37回かくだどんと祭裸参り

1月14日(日)

約2時間をかけて参拝をする県内随一過酷と言われる裸参り(宮城県/かくだどんと祭裸参り実行委員会)

ややまつり

1月14日(日)

東北の奇祭として全国的にも知られる小正月の風物詩(山形県/庄内町)

1月下旬

白神山地世界自然遺産登録30周年記念シンポジウム

1月20日(土)

志田未来(女優)を迎えてパネルディスカッションほか(青森県/弘前文化センター)

こけしびなまつり

1月20日(土)～3月3日(日)

ひとつひとつに味わい深い個性が宿る「こけし雛」(宮城県/蔵王町観光物産協会)

あおもり雪灯りまつり

1月26日(金)～1月28日(日)

雪灯りやキャンドル等が会場をやさしい光で彩る(青森県/雪だ! 灯りだ! 芸術)

イグルー作りに挑戦

1月27日(土)

雪のブロックを積んだイグルー(かまぐらのようなもの)を制作(岩手県/網張ビジターセンター)

比内とりの市

1月27日(土)～1月28日(日)

比内地鶏をメインに地元素材をとことん味わえるイベント(秋田県/大館市)

肘折幻想雪回廊2024

1月27日(土)～2月17日(土)

豪雪地帯「肘折温泉郷」で行われる豪雪ならではのイベント(山形県/大蔵村観光協会)

2月上旬

第46回青森冬まつり

2月3日(土)～2月4日(日)

雪の大型すべり台が目玉の青森の冬恒例イベント!(青森県/青森市観光課)

えぼし雪上花火大会

2月3日(土)

高原グレन्दエ上部より約1,000発の花火が打ち上がる(宮城県/みやぎ蔵王えぼしリゾート)

雪だるま・雪像コンテスト

2月4日(日)

町内全域で個性豊かな雪だるまが、町を訪れる方々を出迎える(宮城県/七ヶ宿町観光協会)

八幡平・安比ゆきフェスティバル

2月上旬～下旬

花火や雪合戦、雪だるまフードの提供等が楽しめるイベント(岩手県/八幡平市観光協会)

なまはげ柴灯まつり

2月9日(金)～2月11日(日)

神事と民俗行事を組み合わせた冬の観光行事(秋田県/男鹿市)

蔵王に登ろう! 山ガール教室③

2月10日(土)

自然の美しさや環境に触れ、登山の楽しさを味わえる(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

新任者略歴紹介

令和6年1月1日付け

東北森林管理局長

おお まさ やす し

大政 康史

(出身県:愛媛県)



平成元年4月 林野庁指導部治山課
30年1月 林野庁森林整備部治山課長
令和2年4月 森林技術総合研修所長
4年4月 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所総括審議役

退官者挨拶

令和5年12月31日付け

前 東北森林管理局長

宮澤 俊輔

このたび12月31日付けで退官することとなりました。職員

の皆さんを始め、関係の自治体、業界、NPO等の皆様には、

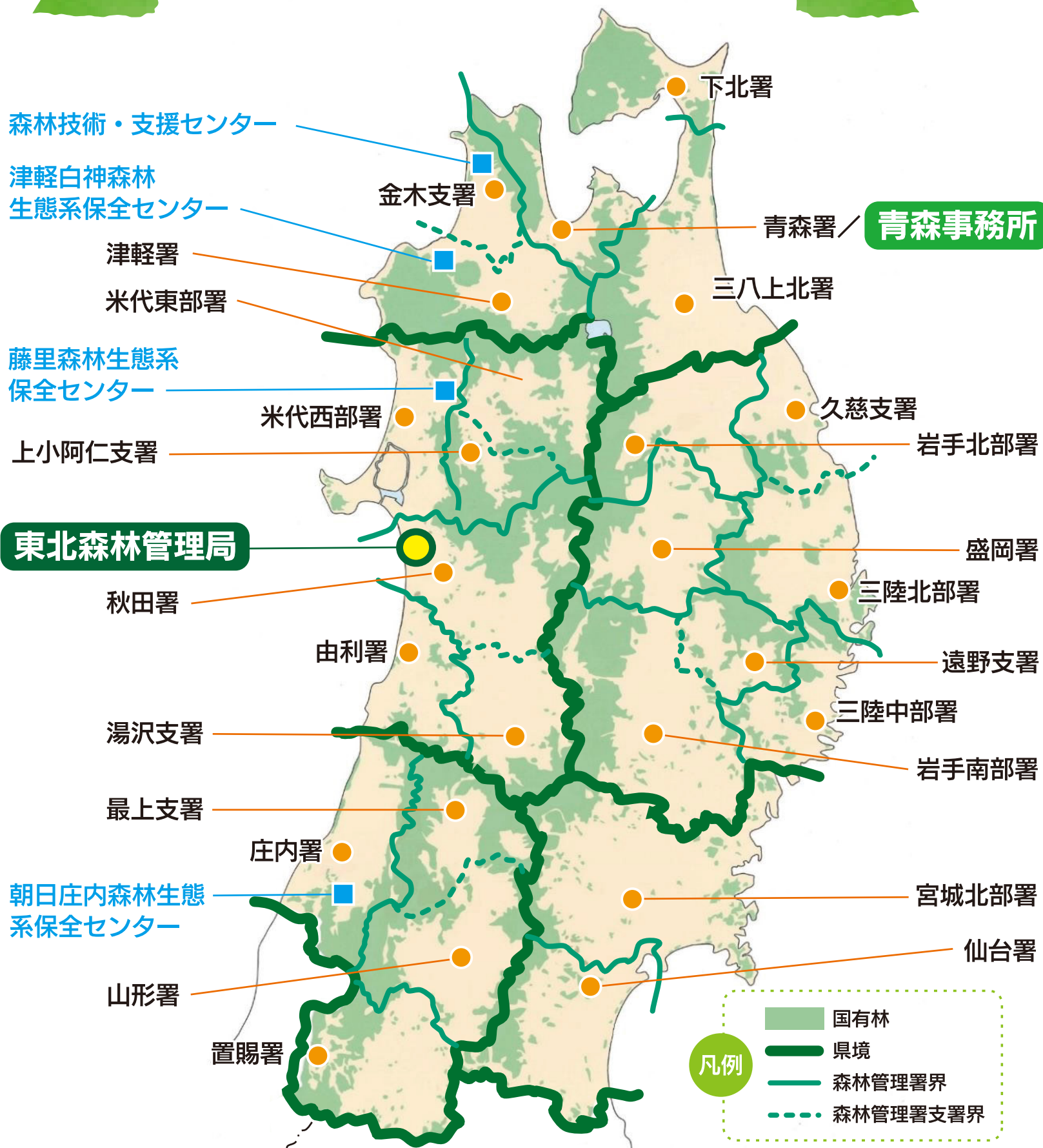
大変お世話になりました。心から厚く御礼を申し上げます。

在任期間2年3ヶ月は、国有林部門で勤めた9ポストの中では最長となり、いろいろな経験や思い出ができました。今後はグラウンド

を出て観客席から東北森林管理局を見守り、応援していこうと思います。今までありがとうございました。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター 森林技術・支援センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿陪野70-82 北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-72-2931 ☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
宮城県	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670
	宮城北部署 仙台署	大崎市古川東町5-32 仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎0229-22-2074 ☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.238

●発行日/令和6年1月

●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

